

media release

プレスリリース

2013年11月8日

ニュージーランド航空 最新鋭ボーイング 787-9 型機、世界最初の定期便を発表 ～第一便はオークランド・パース間、東京への就航も～

ニュージーランド航空は、革新的な最新鋭機ボーイング 787-9 型機を来年 10 月よりオークランド・パース間で定期運航すると発表しました。

これは、同社がオークランドに開設した「カスタマー・イノベーション・アンド・コラボレーション・センター」(CICC)開館式でニュージーランド航空 CEO クリストファー・ラクソンから発表されたもので、センターには、目玉として、ボーイング 787-9 型機の内装がまるごと展示されています。シアトル以外でこの展示を見られるのはこのセンターのみで、実際に 787-9 型機のビジネス・プレミア、プレミアム・エコノミー、エコノミーの 3 つのクラスのキャビンシートおよびニュージーランド航空ならではのデザインシート「エコノミー・スカイカウチ*」を体験することができます。

787-9 型機のビジネス・プレミア・キャabinはヘリンボーン式レイアウトのフルフラット・シートが 18 席、プレミアム・エコノミー・キャabinは「2-3-2」の並びで 21 席あり、それぞれのクラスには専用の洗面所が設けられています。また、エコノミー・キャabinはスカイカウチ 14 列を含む合計 263 席となっています。この 787-9 型機は、より大きな窓と、より清浄で快適な湿度に保たれた機内の空気、そして低めに設定された機内気圧高度によって、長時間のフライトでも快適に過ごしていただけるのが特長です。

ラクソン CEO は、「CICC は、ニュージーランド航空の革新性を伝える核となる施設です。当社は、顧客サービスの新しい取り組みを常に追求すると同時に、お取引先企業の方々とは、ビジネス上の課題を克服しビジネスにつなげていく機会を共に模索していきます。その意味でも、このセンターは、ニュージーランドの創造性を具現化する場となりますし、また、同じような志を持つニュージーランド企業が使用できる会場として提供したいと思います」と述べています。

ラクソン CEO はまた、「787-9 型機は、オークランド・パース間の定期便(ヴァージン・オーストラリア航空とのトランス・タスマン提携便)に続いて、オークランド・東京間、オークランド・上海間への就航も予定しており、フルフラット・シートのビジネス・プレミアや当社独自の「エコノミー・スカイカウチ」をより多くの長距離路線のお客様にご利用いただきたい」と述べています。

787-9 型機は 2014 年 10 月 15 日の運航便より、ニュージーランド航空とヴァージン・オーストラリア航空にて予約が可能となります。詳しくは、www.airnewzealand.jp もしくは www.virginaustralia.com をご覧ください。

787-9 型機の詳細および高解像度の写真データ・動画データ等は、以下の特設ウェブサイトでご参照・ダウンロードいただけます。www.airnewzealand.com/futuretakingflight

* エコノミー・スカイカウチ: ニュージーランド人デザイナーが手がけた、ユニークな「スカイカウチ」シートは、横一列3座席が平らなソファーになるという、リラックスしていただくのに最適な画期的シートです。日本における「エコノミー・スカイカウチ」の就航は、当局の認可を前提としています。



フルフラットベッドになるビジネス・プレミア



ビジネスに準じたサービスが受けられるプレミアム・エコノミー



エコノミーのシートが平らなソファーに変わる、エコノミー・スカイカウチ

本件は、2013年11月7日にニュージーランドで発表されている内容です。

【ニュージーランド航空について】

ニュージーランド航空は、1940年に設立された国際航空会社です。ニュージーランド国内をはじめ、アジア太平洋を含む16ヶ国53都市へ直行便を運航し、スターアライアンスに加盟しています。日本からニュージーランドへ、直行便を運航する唯一の航空会社でもあります。同社は、世界の航空会社で初めて、2010年・2012年と、3年間に2度エア・トランスポート・ワールド誌「エアライン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれたのをはじめ、数々の賞を受賞しています。

公式ホームページ: www.airnewzealand.jp

Facebook: www.facebook.com/AirNZJP

この件に関するメディアの方からのお問い合わせ先:

ニュージーランド航空 広報部 矢我崎・平沢

TEL:03-5521-2733 FAX:03-5521-2740